

議員と語りかい 報告書

No 1

開催日	平成 24年11月 5日 18:30 ~ 20:12		
開催場所	議会棟4階 第3・第4委員会室		
団体名	霧島市まちづくり青年協議会	参加人数	13 人
出席議員 (2班)	宮内 博、前島 広紀、久保 史郎、塩井川幸生		
	新橋 実、山浦 安生、西村新一郎、細山田為重		
役割分担	班 長 (宮内 博)	記録係 (前島 広紀)	
テーマ及び具体的な内容	<p>(テーマ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり全般について(中心市街地活性化、周辺部活性化、まちづくり団体への支援) ・マニフェストの必要性について ・産業活性化 <p>(具体的な内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商工会青年部、商工会議所青年部、青年会議所で構成されているので、若い世代の考える霧島市の将来像について、意見交換をしたい。 		
意見交換会での 主な意見等	<p>(凡例 ◆: 市民の方々からの意見 ⇒: 議員の回答)</p> <p>◆まちづくりとはどのように考えるか。国分は合併前と比べ、人口が2,400人増えたが、福山は862人減った。商工会青年部の中には、生まれも育ちも福山で、家業の会社も福山にあり、そこで働いているが、住まいは国分であるというメンバーがいる。 ⇒ 国分の中にも限界集落化しているところもあり、そういう地域で親たちと話をするとき、「息子たちが下場に住むのはやむを得ない。地域の行事にすべての休日を引っ張り出されるのをみると、ここに住み続けてもらいたいという気持ちにはならない」と言われる。</p> <p>今、霧島市で一番に取り組まなければならないのは、いわゆる特認校制度の導入などあらゆる手を打ちながら、限界集落にならないための教育政策をしなければならないと考える。 ⇒ 横川も若者が下場に下りて行き、駅前の商店街は死んだ町になっている。どうすれば横川に住めるか、若い人の意見を聞きたい。</p> <p>◆若者がすべきまちづくりというものを教えて頂きたい。 ⇒ 出生率を上げてほしい。 ⇒ 出会いの場の企画を増やし、結婚の機会を作る努力をして欲しい。</p> <p>◆市外の人が山間部に移住する場合は、定住促進事業で補助制度がある。しかし、市内の人でも、山間部へ移住した場合に対する補助制度を設ける事は出来ないのか。 ⇒ 市外者の移住と同等の対応をすべきだと思う。</p> <p>⇒ (議員からの質問) 商工会、商工会議所、青年会議所などを卒業した方々は、その後、若者の事業にどの程度協力しているか。</p> <p>◆実行部隊での活動はない。いざ何かあった時、お金の面などで補佐的に協力をもらう。また、人数が足りない時などに加勢をもらう。</p> <p>◆「お前たちが頑張るんだったら、なんとかしないとね」という気持ちで見守ってほしいと思っている。</p>		

議員と語り合い 報告書

【 11月 5日 2 班】

No2

意見交換会での
主な意見等

(凡例 ◆：市民の方々からの意見 ⇒：議員の回答)

- ◆紙の需要が減り、紙パルプが減って、山から木材が出ない。地元の人たちが木を売りたいくて、市場に出しても売れない。これを、木質バイオマスやペレットストーブなど活用すれば、内需を作ることが出来るのではないかと。
- ⇒ 洋風的な家でストーブが入っているのを見ると、いいなと思っている。
- ⇒ 牧園、横川、霧島、福山などの支所で試験的に使ってみてはどうか。
- ⇒ 課題は、ボイラーを設置する家の造りである。
- ⇒ さらに調べて、議会で提案できれば良い。

- ◆マニフェストの必要性について
- ⇒ マニフェストがあることによって、議会のたびにマニフェストに照らして、今、やっている事はどういうことなのか、検証し、実効性を問う事が出来る。
- ⇒ 医師会医療センターの整備などのように、なんとかしてほしいという事を、一般質問でしか言えない。達成度を自分で判断しながら、今後はこういう事をやっていくべきではないかという事を言い続けていくことが、議員に課せられた使命である。

- ⇒ (議員からの質問) 若い世代の考える霧島市の将来像、まちづくりについてどう考えているのか。
- ◆いろいろな所に出て、「霧島市はこんなまちだよ」、「こういうイベントがあるよ」、「祭りがあるよ」とアピールしていきたい。
- ◆ソニー、京セラ、自衛隊などの大企業の一つでも、この街からなくなっていくことがあれば、どうなるのかと心配する。だれか一人でもいいから、このまちから全国にシステム、サービスを生み出す実業家をつくりたい。
- ◆霧島市は、何から何まで要素・資源はそろっている。もっと元気になるべき。ジオパークなどももっとPRしていくべき。
- ◆自分たちのまちの企業のことをもっと知ることによって、街をすきになるのではないかと。企業回り・企業の見学をしてみたい。
- ◆霧島市には、歴史的建築物、神宮などがある。もっと勉強したい。
- ◆地元の人が、ここに何があるのか知らない事が多い。それらを教えるような活動を青年部で行えたら、住民の方々が、霧島市はいいまちだと思って、地域の特性を楽しんでくれると思う。
- ◆地元の人が参加して、よその人が見に来るような、魅力ある地域行事を行うまちづくりを目指している。
- ◆日当山の良さは、温泉と、医療センターが近くにあること。病院関係が充実していることで、健康増進に非常にいい地域である。
- ◆牧之原の国道10号線から入り込んだところで焼肉屋をやっているが、遠く鹿児島からもお客さんが来る。いつかは、商店街を活性化させたいという夢がある。
- ◆高齢者、こどもにとって、医療のことは大事。喫緊の課題は、医療の充実。
- ◆大手企業の誘致も大事だが、地元商店主の補助も充実してほしい。
- ◆地産地消で横のつながりを作り、みんなが生活できる霧島市を構築したい。